

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市茨川町三丁目5番地7
 (茨川福祉センター内)
 TEL0561-51-2878

戦国時代の織田信長のもので茶道を大成させた千利休でしなやかな茶室を命じられた。利休と茶室の弟子の筆頭格だった会津城主蒲生氏郷は千利休が「お取りつき」になると茶道全体が危うい。千利休は「お取りつき」を願った。千利休は「お取りつき」を願った。千利休は「お取りつき」を願った。

八重の桜幕末のジャンヌダルク
 彼女の名は「新島八重」裁縫よりも家芸の腕術



2013.05.31



2013.05.31

この茶室が会津藩の間に隣国が建てられたと伝えられている。茶室の中にある「床柱」は少庵が自ら削ったものだといわれている。

鶴ヶ城(会津若松市) 数々の戦国大名に始られたこの城は、蒲生氏郷が本格的な天守閣を築城した際に今の鶴ヶ城に改名されました。

戊辰戦争後に取り壊されたが、城跡は残っており、国から史跡として指定を受けました。



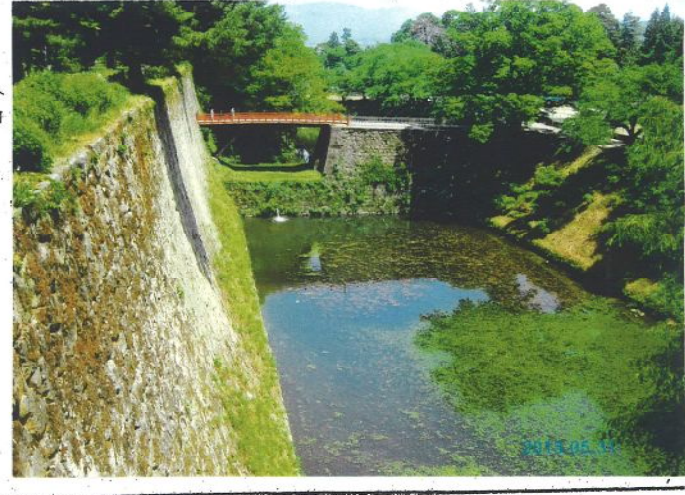
▲鶴ヶ城主御所の茶室。福島県指定重要文化財(建造物)



2013.05.31



荒成の月の詩はエ井曉翠が、この場所の思ひ詩であった。



2013.05.31

廊下橋「屋は隠者落し」